

1. 件名：中長期課題「格納容器再循環サンプスクリーンに対する炉心損傷時の影響検討」に関する面談

2. 日時：平成29年6月1日（木）16：00～17：10

3. 場所：原子力規制庁8階北会議室

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部

原子力規制企画課 石井企画官、帯刀課長補佐、片岡専門職、安岡専門職

原子力規制管理官（PWR 担当）付 正岡安全審査官

北海道電力株式会社 泊発電所 機械保修課 副主幹

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子力安全部門

安全管理グループ マネージャー、他3名

四国電力株式会社 原子力本部 原子力部 工事グループ 副リーダー

日本原子力発電株式会社 発電管理室 設備管理グループ 課長

5. 要旨

○ 本件は、新規制基準審査過程で抽出された PWR 再循環サンプスクリーン中長期課題である「①海水注入時の再循環運転」と「②炉心損傷時の再循環運転」について、今後の知見拡充の観点で取り組まれているもの。

○ ②に関する前回面談資料「格納容器再循環サンプスクリーンに対する炉心損傷時の影響検討について」に対して、事業者より誤植や単語の不統一等を修正、または補足した同資料の改定版が提示され、再説明が行われた。

○ 炉心損傷に伴う核分裂生成物の析出及び海水腐食生成物量のサンプスクリーンに対する影響を考慮しても、格納容器スプレイポンプによる再循環運転が可能であることの結論に変更はない。

6. 添付資料

- ・【改定版】格納容器再循環サンプスクリーンに対する炉心損傷時の影響検討について

以上